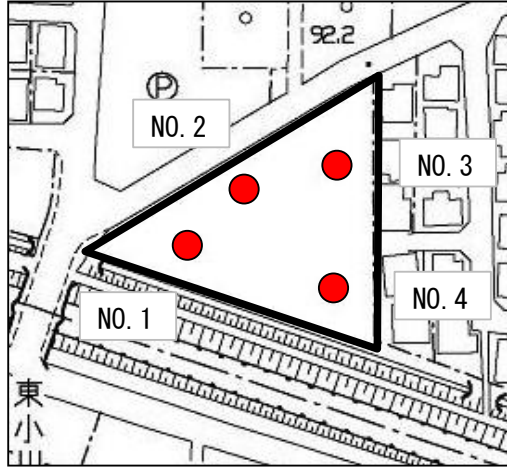


2 森の中に入っていこう

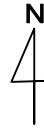
(3)もやわけ(間引き)をやってみましょう

①萌芽が生えている樹木の位置を確認しましょう

萌芽更新樹木配置図



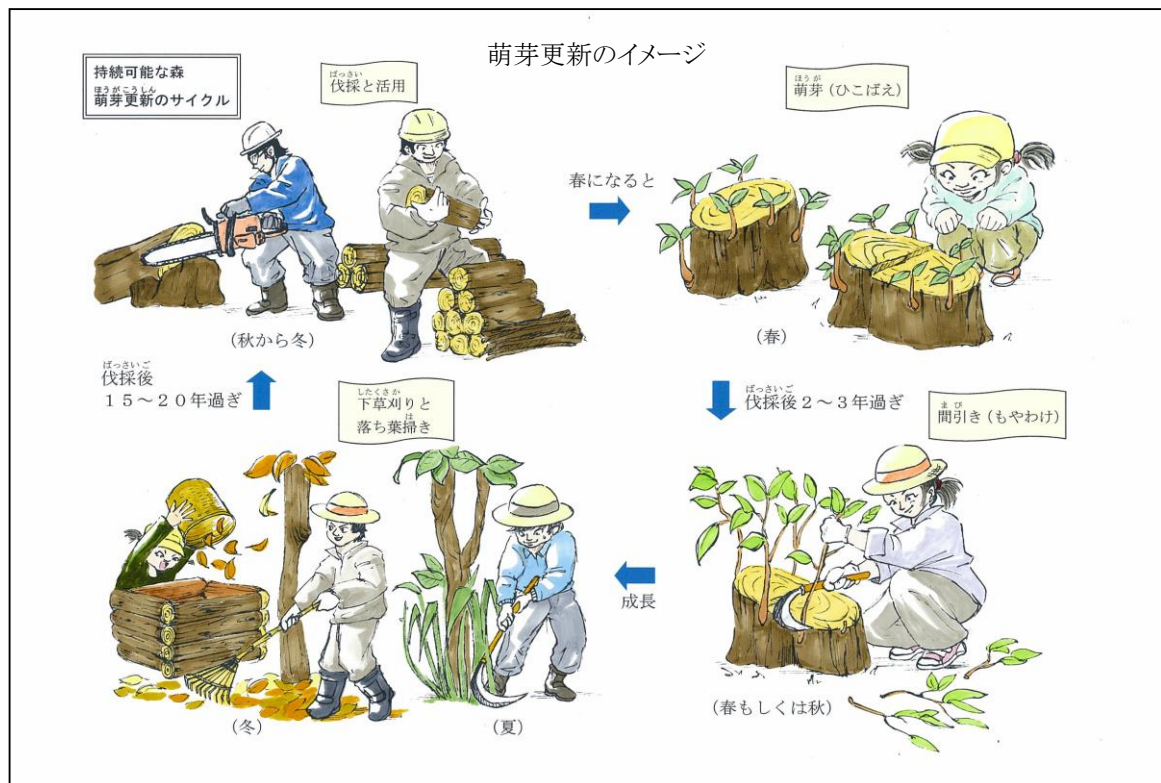
区分	調査日時	天気・温度	班	
調査歴	調査1	平成29年12月10日10時	晴・5.1℃/64.4%	I・II
	調査2	平成30年 3月10日10時	晴・13℃/47%	I・II
	調査3	平成30年 4月14日10時	晴・16℃/44%	I・II
	調査4	平成31年 2月 2日11時	晴・13℃/34%	I・II



- NO1 コナラ
- NO2 エゴノキ
- NO3 ヤマザクラ
- NO4 クヌギ

もやわけをやってみましょう

②萌芽更新のサイクルについて確認しましょう



平成29年6月から平成31年3月実施

(ア)萌芽更新とは

萌芽更新とは、根株を残して樹木を伐採し、その後、根株から生えてくる若芽を何本か残して再び成木へと成長させていくサイクルを繰り返す雑木林の管理方式をいう。雑木林を構成するクヌギやコナラなどは、一般に樹齢が20年以上になると萌芽力や樹木の成長が劣り始めるので、常に成長のよい雑木林を維持するために15年から20年ごとに伐採し更新を行うものである。そのような雑木林では、常に薪炭やホダ木が供給され、落ち葉は堆肥として利用することができる若返りが行われていたとも言える。約3世紀に渡って行われていた萌芽更新による雑木林の管理と短冊形の農地配置などが、武蔵野の風情といった小平らしさの風景の要素であるとも言えよう。

(イ)伐採と活用

樹木が古くなって高く成長し過ぎたり、枝が太くなり過ぎる前に、15年～20年で伐採する。伐採は、冬の季節に根元から30～40センチぐらい上のあたりを表面に雨水がたまらないように少し斜めの切り口で伐採する。伐採を3～4回繰り返すと、根株は60年～80年経過し、萌芽力が弱くなってくるので新しい苗を植栽する。

- 15年～20年で伐採
- 伐採は冬に実施
- 根元から30～40センチを少し斜め切り
- 伐採は3～4回で終了し新たな苗を植栽
- 新しい苗は武蔵野のドングリの実生のDNAを利用

(ウ)萌芽の成長

春になると萌芽力が強いクスギやコナラは、伐採した切り口の輪かく部などから新芽がいくつも芽生えてくる。この新芽を萌芽または「ひこばえ」という。2～3年は、せつかく伸びた萌芽を切ってしまうように丁寧な草刈りを行うとともに日照を確保し成長を見守っていく必要がある。

- 2～3年は成長を観察
- 丁寧な草刈りの実施
- 日照の確保

(エ)もやわけ

伐採してから2～3年後には、葉をいっぱい付けた萌芽が何本もみることができる。その中で、葉の様子から成長が良く、芽が出た場所が切り株の断面より下に5センチ離れたもので、枝が真っ直ぐ伸びている萌芽を2～3本残して刈り取る。この作業を「もやわけ」または「間引き」という。根が大きく張った根株に生えた萌芽は、実生で育った樹木より育ちが良い。

- 2～3本の残す萌芽を決める。
- 残す萌芽を傷つけないように他の萌芽を剪定バサミなどの歯先に気をつけながら刈り取る。

③萌芽更新のサイクルの内、もやわけの作業をやってみました。

工程1 (残すひこばえを決める)



【残すひこばえの決定】

- ひこばえ (萌芽) 萌芽が見やすいように切り株の周りを清掃し、ひこばえの全本数を数える。
- 2～3本の残すひこばえを次の内容で決めてガムテープ等で明示する。
 - ①葉の様子から成長が良いものを選ぶ。
 - ②芽が出た場所が切り株の断面より5センチ以上離れたものを選ぶ。
 - ③萌芽の枝が真っ直ぐ伸びているものを選ぶ。
 - ④隣接道路や建築物等の支障となる枝は選ばない。
 - ⑤成長を控えめにしたい場合や成長が見込めない可能性がある場合は残す萌芽の本数を通常の2～3本から5～6本に増やす。

工程2 (もやわけ作業)



【もやわけ作業】

- 作業スペースを確保しながら次の内容で刈り取りする。この作業を「もやわけ」または「間引き」という。
 - ①残す萌芽を絶対傷つけないように慎重に作業する。
 - ②刈り込みは、剪定バサミや刃の細かいノコギリ等を使用し、切断部がきれいになるようにする。また、切断部面積を少なくすることで腐朽を防ぐために樹木に対して直角に切る。
 - ③外側枝からそして上側の枝の順で刈り取りする。
 - ④枝はなるべく根元から刈り取りする。

工程3(もやわけ終了・片づけ)



【もやわけ終了】

- ずいぶんとサッパリしました。今回は成長が見込めない可能性もある若芽があったので少し多めに残した。樹齢は年輪を数えれば分かる。

【片づけ】

- 道具等の片づけ
 - ①剪定バサミ等は刃先に気をつけて持ち帰る。
 - ②その他の道具等を片づける。
- 刈り取ったひこばえは、30～50センチの長さにしてひとまとめにして積んでおき、なるべく早く回収する。

萌芽更新 NO1

樹種	伐採日	切り株推定樹齢	もやわけ前本数	もや樹齢
コナラ	不明	46～50年	13本	1～6年

経過観察1					経過観察2				
内容	つる性植物除去後、もやわけ開始・基本情報取得				内容	新たなもやの発芽→なし 切り株の腐朽→なし			
観察日	もや番号	高さ m	太さ cm	状態	観察日	もや番号	高さ m	太さ cm	状態
残本数					残本数				
H29.12.10	NO1	0.70	2.0cm	良好	H30.3.10	NO1	0.8m	1.0cm	良好
	NO2	0.45	1.0cm	良好		NO2	0.5m	1.0cm	良好
	NO3	1.50	5.0cm	膠着性腐朽菌が張り付いている。良好とはいえない。		NO3	1.4m	5.0cm	枝が枯れて容易に折れる。冬芽があるものの、枯葉がついていて良好とはいえない。
	NO4	2.10	6.5cm			NO4	2.1m	7.5cm	
9本	NO5	2.10	8.0cm	良好	9本	NO5	2.3m	10.0cm	良好
	NO6	1.60	2.5cm	良好		NO6	1.6m	2.5cm	良好
	NO7	1.10	3.0cm	良好		NO7	1.1m	2.0cm	良好
	NO8	1.40	2.5cm	良好		NO8	1.4m	2.3cm	良好
	NO9	1.00	2.0cm	良好		NO9	0.9m	1.3cm	良好

経過観察3					経過観察4				
内容	新たなもやの発芽→なし 切り株の腐朽→進んでいる				内容	萌芽更新の可能性→台風被害の影響で、もやの消失・倒木があった。全体的に厳しい状況である。			
観察日	もや番号	高さ m	太さ cm	状態	観察日	もや番号	高さ m	太さ cm	状態
残本数					残本数				
H30.4.14	NO1	0.8m	1.0cm	不良(枯れている)	H31.2.2	NO1	-	-	消失
	NO2	0.6m	0.5cm	不良(枯れている)		NO2	-	-	消失
	NO3	0.9m	4.5cm	不良(枝先が枯れてい		NO3	1.1m	5.0cm	不良
	NO4	2.1m	6.5cm	不良(枯れ枝が多い)		NO4	-	-	倒木
9本	NO5	2.3m	8.5cm	不良(枝先が枯れてい	NO5	2.5m	8.0cm	不良	
	NO6	1.5m	2.5cm	不良(新芽枯れている)	NO6	1.1m	2.0cm	不良	
	NO7	1.2m	2.0cm	やや良好(新芽枯れている)	NO7	0.6m	2.2cm	不良(幹折れ)	
	NO8	1.4m	2.5cm	不良(新芽枯れている)	NO8	1.4m	1.7cm	不良	
	NO9	0.9m	1.0cm	不良(新芽枯れている)	NO9	-	-	消失	

※もや番号は方位北から時計回りに付番(太さは地上部から高さ60cmの幹周り)

(もやわけ前)



つる性植物(クズ・オニドコロ・ヘクソカヅラ、スイカヅラ)除去前
平成29年12月10日撮影



つる性植物除去後
平成29年12月10日撮影



(もやわけ後)



平成29年12月10日撮影



平成30年3月10日撮影



平成30年4月14日撮影



平成31年2月2日撮影

もやわけをやってみましょう

平成29年6月から平成31年3月実施

萌芽更新 NO2

樹種	伐採日	切り株推定樹齢	もやわけ前本数	もや樹齢
エゴノキ	不明	15年	6本	4年

経過観察1					経過観察2				
内容	つる性植物除去後、もやわけ開始・基本情報取得				内容	新たなもやの発芽→なし 切り株の腐朽→なし			
観察日	もや番号	高さ m	太さ cm	状態	観察日	もや番号	高さ m	太さ cm	状態
残本数					残本数				
H29.12.10	NO1	1.6m	5.0cm	良好	H30.3.10	NO1	1.6m	4.2cm	良好
	NO2	1.6m	5.5cm	良好		NO2	1.6m	5.5cm	良好
	NO3	0.6m	3.0cm	良好		NO3	0.7m	3.5cm	良好
3本					3本				

経過観察3					経過観察4				
内容	新たなもやの発芽→数本あり 切り株の腐朽→なし				内容	萌芽更新の可能性→順調に成長しているため可能性は高い。			
観察日	もや番号	高さ m	太さ cm	状態	観察日	もや番号	高さ m	太さ cm	状態
残本数					残本数				
H30.4.14	NO1	1.7m	4.5cm	良好	H31.2.2	NO1	2.2m	4.0cm	良好
	NO2	1.7m	5.5cm	良好		NO2	1.4m	4.0cm	良好
	NO3	0.6m	3.6cm	不良(枯れている)		NO3	0.6m	3.2cm	不良(根元が割れている)
3本					3本				※新しい萌芽1本出していた。

※もや番号は方位北から時計回りに付番(太さは地上部から高さ60cmの幹周り)



もやわけ前
平成29年12月10日撮影



もやわけ後
平成29年12月10日撮影



平成30年3月10日撮影



平成30年4月14日撮影



平成31年2月2日撮影



エゴノキの新芽
平成30年3月10日撮影

もやわけをやってみましょう

平成29年6月から平成31年3月実施

萌芽更新 NO3

樹種	伐採日	切り株推定樹齢	もやわけ前本数	もや樹齢
ヤマザクラ	不明	50年	4本	7~8年

経過観察1					経過観察2				
内容	もやわけ開始・基本情報取得				内容	新たなもやの発芽→なし 切り株の腐朽→なし			
観察日	もや番号	高さ m	太さ cm	状態	観察日	もや番号	高さ m	太さ cm	状態
残本数					残本数				
H29.12.10	NO1	8.0m	23cm	良好	H30.3.10	NO1	8.0m	23cm	良好
	NO2	9.0m	27cm	良好		NO2	9.0m	27cm	良好(南側根際に損傷有り)
	NO3	10.0m	21cm	良好		NO3	10.0m	21cm	良好
3本					3本				

経過観察3					経過観察4				
内容	新たなもやの発芽→13本あり 切り株の腐朽→なし				内容	萌芽更新の可能性→高い(状態は良好)			
観察日	もや番号	高さ m	太さ cm	状態	観察日	もや番号	高さ m	太さ cm	状態
残本数					残本数				
H30.4.14	NO1	8.0m	23cm	良好	H31.2.2	NO1	8.0m	26cm	良好
	NO2	9.0m	28cm	良好、胴吹きあり		NO2	9.0m	33cm	良好(胴吹き回復している)
	NO3	10.0m	21cm	良好		NO3	9.0m	23cm	良好
3本					3本				

※もや番号は方位北から時計回りに付番(太さは地上部から高さ60cmの幹周り)



もやわけ前
平成29年12月10日撮影



もやわけ後
平成29年12月10日撮影



平成30年3月10日撮影



平成30年4月14日撮影



平成31年2月2日撮影



No.2南側根際の損傷状況
平成30年3月10日撮影

もやわけをやってみましょう

平成29年6月から平成31年3月実施

萌芽更新 NO4

樹種	伐採日	切り株推定樹齢	もやわけ前本数	もや樹齢
クヌギ	不明	45～50年	25本	3年

経過観察1					経過観察2				
内容	もやわけ開始・基本情報取得				内容	新たなもやの発芽→なし 切り株の腐朽→なし			
観察日	もや番号	高さ m	太さ cm	状態	観察日	もや番号	高さ m	太さ cm	状態
H29.12.10	NO1	1.3m	1.5cm	良好	H30.3.10	NO1	1.3m	1.5cm	良好
	NO2	1.0m	2cm	良好		NO2	1.0m	2cm	良好
	NO3	1.1m	1.5cm	良好		NO3	1.1m	1.5cm	良好
3本					3本				

経過観察3					経過観察4				
内容	新たなもやの発芽→ なし 切り株の腐朽→なし				内容	萌芽更新の可能性→低い			
観察日	もや番号	高さ m	太さ cm	状態	観察日	もや番号	高さ m	太さ cm	状態
H30.4.14	NO1	1.0m	2.0cm	良好とはいえない (虫に食われている、経過観察が必要)	H31.2.2	NO1	1.0m	2cm	不良(枯れている)
	NO2	1.1m	3cm			NO2	-	-	消失
	NO3	1.1m	2cm			NO3	1.1m	2.0cm	不良(枯れかかっている)
3本					2本				

※もや番号は方位北から時計回りに付番(太さは地上部から高さ60cmの幹周り)



もやわけ前
平成29年12月10日撮影



もやわけ後
平成29年12月10日撮影



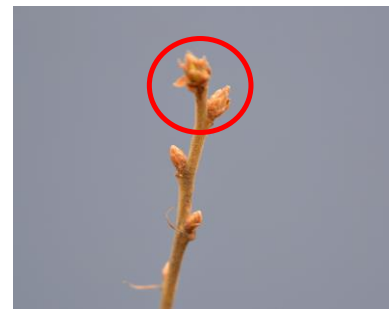
平成30年3月10日撮影



平成30年4月14日撮影



平成31年2月2日撮影



クヌギの新芽
平成30年3月10日撮影

もやわけをやってみましょう

平成29年6月から平成31年3月実施

2 森の中に入っていこう

(4)草花を見よう

草花を見よう

平成29年6月から平成31年3月実施



区分	調査日時	天気・温度湿度	班
調査1	平成29年 6月24日 10時	晴・27度60%	I・II
調査2	平成29年 9月16日 10時	曇り・25度61%	I・II
調査3	平成29年 12月10日 10時	晴・5度64%	I・II
調査4	平成30年 3月10日 10時	晴・13度47%	I・II
調査5	平成30年 4月14日 10時	晴・13度47%	I・II

調査歴

(注意)
調査地の森では、土地所有者及び市の同意無しに、動植物及び菌類の捕獲、採取、殺傷又は損傷はできません。

～森で見られた草花たちの一覧～

	名前	種類	観察季節	区域	雑木林視点の要約(雑木林との関わり)	頁
1	アマナ	多年草	春	A	雑木林の林床に群生する。	26
2	アミガサユリ	多年草	春	B	外来種で雑木林には生息しないが、侵入することがある。	26
3	イカリソウ	多年草	春	AB境界付近	雑木林の林床に生息する。	26
4	イチリンソウ	多年草	春	B南側	雑木林の林床の典型的な草本。	27
5	イヌワラビ	シダ植物	春	A	普通に雑木林の林床にみられる。	27
6	ウバユリ	多年草	春	B	湿地性の雑木林の林床で見られる。	27
7	ウラシマソウ	多年草	春	B	雑木林で比較的多く見ることができる。	27
8	エンレイソウ	多年草	春	A南側	野山等に生息する。雑木林でも見られる。	27
9	オニユリ	多年草	春	A・B	最近では雑木林の林辺で見られる。	27
10	カキドオシ	つる性	春	A・B	雑木林の林辺部でよく見られる。	28
11	カントウタンポポ	多年草	春	A	雑木林の草本というより、芝地など草原に群生する草本。	28
12	キチジョウソウ	多年草	冬	A南側	暖地の雑木林で見かけることがある。	28
13	キランソウ	多年草	春	A	雑木林の日の当たる林辺部で見られる。	28
14	キンラン	多年草	春	A・B	典型的な雑木林の野草である。絶滅危惧Ⅱ類	28
15	ギンラン	多年草	春	B	キンラン同様に雑木林の典型的な野草である。絶滅危惧Ⅱ類	29
16	クサノオウ	2年草	春	B西側	明るい雑木林の林辺部で見られる。	29
17	シオデ	多年草	春	A・B	雑木林の林辺部で見かける。	29
18	シャガ	多年草	春	A南側	古い時代に中国から日本に帰化した草本植物。	29
19	ジャノヒゲ	多年草	春	A・B	雑木林の林床の典型的な下草。	29
20	シュンラン	多年草	春	A南側	雑木林の林床を代表するラン。早春に開花するのでこの名がある。	30
21	スイセン	多年草	春	B	雑木林の野草ではない。典型的な園芸植物。	30
22	スマレの外来種	多年草	春	B	特に林辺部に侵入し、夏には大きな葉を構成する。	30
23	ゼンマイ	シダ植物	春	A	雑木林の林辺で見かけることがある。	30
24	タチツボスミレ	多年草	春	A・B	雑木林の典型的な野草である。	30
25	チゴユリ	多年草	春	B	雑木林、林床に群生する典型的草本。	31
26	ツリガネニンジン	多年草	春	A	雑木林の明るい場所で見かける。	31
27	ツルボ	多年草	秋	A南側	雑木林では比較的明るい場所で群生する。	31
28	ニガナ	多年草	春	A・B	近年は雑木林の林辺部に群生するが、本来は里地の植物である。	31
29	ノキシノブ	シダ植物	春	A	雑木林でも見られる。雑木のコケの生えた樹幹に着生して生存する。	31
30	ハコベ	1・2年草	春	B	畑地や畦道などに生える。雑木林に侵入することがある。	31
31	ハナニラ	多年草	春	A・B	明治時代に外国から園芸種として持ち込まれた帰化植物。	32
32	ヒメカンスゲ	多年草	春	A・B	雑木林で普通に見られるイネ科の植物。	32
33	ヒメツルニチニチソウ	つる性	春	A・B南側	外来園芸品種。雑木林の林辺部に侵入することがある。	32

草花を見よう

平成29年6月から平成31年3月実施


	名前	種類	観察季節	区域	雑木林視点の要約(雑木林との関わり)	頁
34	フキノトウ	多年草	春	A・B	雑木林や里地・人家の周辺で見かける。	32
35	フタリシズカ	多年草	春	A	雑木林の林床を代表する草本。	32
36	フデリンドウ	2年草	春	A	山野の日当たりよりとくに生える。雑木林の林辺部でも見られる。	33
37	ヘクソカズラ	つる性	春	A・B	ヤブカラシやクズ等のように雑木林の林辺部で大量に繁茂することもある。	33
38	ヘビイチゴ	多年草	春	B	田の畔や道端などのやや湿った場所に生える。	33
39	ホウチャクソウ	多年草	春	A・B南側	雑木林で見られることもある。林床部で生えている。	33
40	ホトトギス	多年草	冬	B	雑木林でも見かける。	33
41	マムシグサ	多年草	春	A南側	雑木林の典型的な草本。	33
42	ミツバツチグサ	多年草	春	A	雑木林でも人里でも見かける草本。	34
43	ムラサキケマン	2年草	春	A・B南側	明るい里地や雑木林に生息する草本。	34
44	ムラサキサギゴケ	多年草	春	A南側	雑木林の林辺部でよく見られる。	34
45	ムラサキハナナ	2年草	春	A	外来種で雑木林には生息しないが、侵入することがある。	34
46	ヤブマオ	多年草	春	A・B	雑木林の林辺部で見られることもある。	34
47	ヤブラン	多年草	春・冬	B	雑木林で見られることもある。	35
48	ヤブレガサ	多年草	春	A	武蔵野の雑木林で見かけることがある。	35
49	ヤマユリ	球根植物	春	A	雑木林で比較的多く見ることができる。林辺部に生える。	35
50	ラムイウム	多年草	春	A・B	外来園芸品種。雑木林にはない植物。	35

～森で見られた草花たちの特徴や写真～

草	1	春	H30	2	種類	アマナ
						
班名	調査日	区域				
I	30.3.10	A				
特徴	<p>ユリ科の多年草。高さ10-25cm。葉は線形。早春に葉の間から花茎を1本立て、その先にチューリップによく似た広い鐘形の白い小さな花がつく。名は球根が甘く食用にできることから。別名ムギクワイとも言う。</p>					
雑木林視点	雑木林の林床に群生する。					
草	3-1	春	H30	4	種類	イカリソウ
						
班名	調査日	区域				
I	30.3.10	AB				
特徴	<p>多年草。高さ30-50cm。花期は4-5月で白や紅紫色の花がつく。名は花の形が船のいかりに似ていることから。薬草としても利用されている。絶滅危惧IB類(東京都北多摩)</p>					
雑木林視点	雑木林の林床に生息する。					

草	2	春	H30	3	種類	アミガサユリ
						
班名	調査日	区域				
II	30.3.10	B				
特徴	<p>多年草。高さ30-60cm程度。花期は早春で、茎の頂部に2つほどの淡緑色の花を下向きに咲かせる。別名バイモユリとも言う。観賞用として栽培される事が多い。</p>					
雑木林視点	外来種で雑木林には生息しないが、侵入することがある。					
草	3-2	春	H30	1	種類	イカリソウ
						
班名	調査日	区域				
I・II	30.4.14	AB境界付近				
特徴	<p>多年草。高さ30-50cm。花期は4-5月で白や紅紫色の花がつく。名は花の形が船のいかりに似ていることから。薬草としても利用されている。絶滅危惧IB類(東京都北多摩)</p>					
雑木林視点	雑木林の林床に生息する。					


草	4	春	H30	31	種類	イチリンソウ
						
班名	調査日	区域				
II	30.4.14	B南側				
特徴	<p>多年草。高さ20-25cm。葉は3個輪生し、3出複葉で長い柄がある。花期4-5月、花弁はなく、白い5-6個のがく片が花弁のように見える。茎先に花が1個つので、この名がある。スプリング・エフェメラルの代表的な植物。</p>					
雑木林視点	雑木林の林床の典型的な草本。					

草	5	春	H30	18	種類	イヌワラビ
						
班名	調査日	区域				
I	30.3.10	A				
特徴	<p>山地の日陰に生え、胞子および地下茎により繁殖するシダ植物。葉は冬枯れて春に新芽を出し大きくなる。</p>					
雑木林視点	普通に雑木林の林床にみられる。					

草	6	春	H29	2	種類	ウバユリ
						
班名	調査日	区域				
I	29.6.24	B				
特徴	<p>多年草。高さ60-100cm。根元の葉が枯れてなくなることから、葉のないのを歯無しの姥にたとえて名がついた。茎の先端に数個つく花は水平に出て、長さ10cm程度の緑白色。花期は7-8月。</p>					
雑木林視点	湿地性の雑木林の林床で見られる。					

草	7	春	H30	2	種類	ウラシマソウ
						
班名	調査日	区域				
II	30.4.14	B				
特徴	<p>多年草。高さ30-50cm鳥足状の葉。糸状形態に伸びた花穂の一部を浦島太郎の釣り糸に見立てた。薄暗い湿った林を好む。</p>					
雑木林視点	雑木林で比較的多く見ることができる。					


草	8	春	H30	3	種類	エンレイソウ
						
班名	調査日	区域				
I	30.4.14	A南側				
特徴	<p>多年草。高さ20-30cm。茎の先端に3枚の葉が輪生する。3枚の葉の中心から短い花柄が伸び、4-6月に紫褐色の小さな花をつける。根茎を干したものを薬草として用いられる。</p>					
雑木林視点	野山等に生息する。雑木林でも見られる。					

草	9	春	H29	3	種類	オニユリ
						
班名	調査日	区域				
I・II	29.6.24	A・B				
特徴	<p>多年草。高さ100-180cm。花期は7-9月。葉のわきには黒紫色のりん片からなるムカゴがつく。7-8月茎先に黄赤色に黒い斑点の花を10個ほどつける。古くから食用として栽培される。</p>					
雑木林視点	最近では雑木林の林辺で見られる。					

草	10	春	H30	4	種類	カキドオシ
						
班名	調査日	区域				
I・II	30.4.14	AB				
特徴	つる性植物。高さ5-25cm。葉は対生し、心臓形で鋸歯がある。花期は4-5月。淡紫色の唇形で濃紫色の斑紋と白い毛が目立つ。隣接地から垣根を通して侵入してくることが名の由来である。					
雑木林視点	雑木林の林辺部でよく見られる。					

草	11	春	H30	5	種類	カントウタンポポ
						
班名	調査日	区域				
I	30.4.14	A				
特徴	多年草。高さ30-100cm。花の真下の総苞片がめくれているものが外来種、めくれないのが在来種。開花(3-5月)					
雑木林視点	雑木林の草本というより、芝地など草原に群生する草本。					

草	12	冬	H29	3	種類	キチジョウソウ
						
班名	調査日	区域				
II	29.12.10	A南側				
特徴	ユリ科の多年草。高さ10-30cm。葉は線形で、ヤブランのように穂状に紅紫色の花をつける。開花(9-12月)庭に植えて開花させると家に吉事があると言い伝えられている。					
雑木林視点	暖地の雑木林で見かけることがある。					

草	13-1	春	H30	6	種類	キランソウ
						
班名	調査日	区域				
I	30.3.10	A				
特徴	シソ科の多年草。全体に毛が多い。茎は高く伸びず、全体がロゼット状に地表に這って四方に広がる。花期は3-5月、葉のわきに淡紫色で唇形の花をつける。別名ジゴクノカマノフタともいう。					
雑木林視点	雑木林の日の当たる林辺部で見られる。					

草	13-2	春	H30	6	種類	キランソウ
						
班名	調査日	区域				
II	30.4.14	B				
特徴	シソ科の多年草。全体に毛が多い。茎は高く伸びず、全体がロゼット状に地表に這って四方に広がる。花期は3-5月、葉のわきに淡紫色で唇形の花をつける。別名ジゴクノカマノフタともいう。					
雑木林視点	雑木林の日の当たる林辺部で見られる。					

草	14-1	春	H29	4	種類	キンラン
						
班名	調査日	区域				
I・II	29.6.24	A・B				
特徴	多年草。高さ30-70cm。葉が長楕円形で長さ8-15cm。チューリップの葉が何段も重なったようである。開花(4-6月)金色)					
雑木林視点	典型的な雑木林の野草である。絶滅危惧II類(環境省、東京都北多摩)					

草 14-2 春 H30 7 種類 キンラン



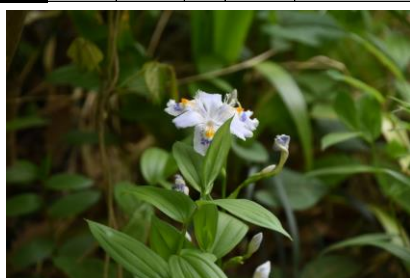
班名	調査日	区域
I・II	30.4.14	B
特徴	多年草。高さ30-70cm。葉が長楕円形で長さ8-15cm。チューリップの葉が何段も重なったようである。開花(4-6月金色)	
雑木林視点	典型的な雑木林の野草である。絶滅危惧II類(環境省、東京都北多摩)	

草 16 春 H30 9 種類 クサノオウ



班名	調査日	区域
II	30.4.14	B西側
特徴	2年草。高さ30-80cm。葉は互生し、羽状に切れこむ。花期(4-7月鮮やかな黄色)茎や葉を切ると黄色の乳液がでる。	
雑木林視点	明るい雑木林の林辺部で見られる。	

草 18 春 H30 10 種類 シヤガ



班名	調査日	区域
I	30.4.14	A南側
特徴	多年草。高さ50-60cm。葉は厚みがあり線状に伸びる。花期(4-5月白紫色のアヤメに似た花)地下茎で増える。	
雑木林視点	古い時代に中国から日本に帰化した草本植物。雑木林にも存在するが、人里の植物。	

草 15 春 H30 8 種類 ギンラン



班名	調査日	区域
I・II	30.4.14	B
特徴	多年草。高さ10-30cm。花期4-5月、白花、花は全開せず半開で終わる花。白色の花であるが、金色のキンランに対比してギンランと名付けられた。	
雑木林視点	キンラン同様に雑木林の典型的な野草である。絶滅危惧II類(東京都北多摩)	

草 17 春 H29 5 種類 シオデ



班名	調査日	区域
I・II	29.6.24	A・B
特徴	多年草。つる性植物。葉はハート型で5-15cm。線香花火のような変わった形の花が咲く。開花(5-7月淡黄緑色) 牛尾菜	
雑木林視点	雑木林の林辺部で見かける。	

草 19 春 H30 8 種類 ジャノヒゲ



班名	調査日	区域
I	30.3.10	A・B
特徴	常緑多年草。高さ10-20cm程度で細い葉が多数出る。花期7-8月白・淡紫色。実は大きくて、秋に熟すと鮮やかなコバルトブルーになる。実は3月頃まで残る。別名リュウノヒゲともいう。	
雑木林視点	雑木林の林床の典型的な下草。	

草	20-1	春	H30	9	種類	シュンラン
						
班名	調査日	区域				
I	30.3.10	A				
特徴	<p>多年草。高さ20-60cm。葉は常緑で線状に伸びる。花期(3-4月 淡黄緑色) 地下茎で増える。春蘭、ジジババ、ホクロ等様々な呼び名がある。</p>					
雑木林視点	<p>雑木林の林床を代表するラン。早春に開花するのでこの名がある。</p>					

草	20-2	春	H30	11	種類	シュンラン
						
班名	調査日	区域				
I・II	30.4.14	A南側				
特徴	<p>多年草。高さ20-60cm。葉は常緑で線状に伸びる。花期(3-4月 淡黄緑色)、地下茎で増える。春蘭、ジジババやホクロ等様々な呼び名がある。</p>					
雑木林視点	<p>雑木林の林床を代表するラン。早春に開花するのでこの名がある。</p>					


草	21	春	H30	10	種類	スイセン
						
班名	調査日	区域				
II	30.3.10	B				
特徴	<p>多年草。球根。高さ15-40cm。花期(12-3月 白・黄色等) 葉は扁平で艶消しの緑色。水仙。別名「雪中花」。</p>					
雑木林視点	<p>雑木林の野草ではない。典型的な園芸植物。園芸種が多く球根で林内で捨てられ生育することがある。</p>					

草	22	春	H30	15	種類	スマレの外来種
						
班名	調査日	区域				
II	30.4.14	B				
特徴	<p>多年草。葉は三角やハート型。花期(3-5月 濃紫等) 花の形状が大工道具の墨入れに似ていることから由来する説があり。種類が多くパンジーやビオラなどの園芸品種も多い。</p>					
雑木林視点	<p>特に林辺部に侵入し、夏には大きな葉を構成する。</p>					

草	23	春	H29	6	種類	ゼンマイ
						
班名	調査日	区域				
I・II	29.6.24	A				
特徴	<p>多年生シダ植物。高さ50-100cm。新芽はきれいなうずまき状で、表面は綿毛で覆われているが、成長すると毛はなくなる。葉は2回羽状複葉。山村地帯では山村特産物として食されている。</p>					
雑木林視点	<p>雑木林の林辺で見かけることがある。</p>					


草	24	春	H30	16	種類	タチツボスミレ
						
班名	調査日	区域				
I・II	30.4.14	A・B				
特徴	<p>多年草。高さ5-10cm。葉は心臓形。花期(3-5月 淡紫色)。スマレとの違いは、葉が根出しだけでなく茎からも伸びる。葉が丸みを帯びている。</p>					
雑木林視点	<p>雑木林の典型的な野草である。</p>					


草	25	春	H29	13	種類	チゴユリ
						
班名	調査日	区域				
I	29.6.24	B				
特徴	多年草。花期4-6月、花弁6つ、白色。花後に黒色の果実を付ける。小さくて可愛いことから、名の由来がある。					
雑木林視点	雑木林、林床に群生する典型的草本。					

草	26	春	H29	7	種類	ツリガネニンジン
						
班名	調査日	区域				
I・II	29.6.24	A				
特徴	多年草。高さ40-100cm。葉は細長い楕円形で長さ5-10cm、鋸歯あり。花期(8-10月淡紫色の釣り鐘型の花を数段に分けて咲かせる)					
雑木林視点	雑木林の明るい場所で見かける。					

草	27	秋	H29	1	種類	ツルボ
						
班名	調査日	区域				
II	29.9.16	A南側				
特徴	多年草。高さ20-40cm。葉は線形。葉の間から細長い花茎を伸ばし、多数の花をつける。開花(8-9月淡紫色) スルボ、サンダイガサとも呼ばれる。					
雑木林視点	雑木林では比較的明るい場所で群生する。					

草	28	春	H29	8	種類	ニガナ
						
班名	調査日	区域				
I・II	29.6.24	A・B				
特徴	多年草。高さ40-70cm。茎は白汁があり苦味が多いことから名の由来になっている。苦菜。茎の先端で枝分かれし1.5cmぐらいの黄色の頭花をつける。開花(5-7月黄色)					
雑木林視点	近年は雑木林の林辺部に群生するが、本来は里地の植物である。					


草	29	春	H30	12	種類	ノキシノブ
						
班名	調査日	区域				
I	30.3.10	A				
特徴	シダの一種。茎は短く横に這い、多数の細かい根を出して樹皮などに着生する。					
雑木林視点	雑木林でも見られる。雑木のコケの生えた樹幹に着生して生存する。					


草	30	春	H30	17	種類	ハコベ
						
班名	調査日	区域				
II	30.4.14	B				
特徴	1・2年草。高さ10-30cm。葉は対生し、卵形。春の七草の1つ。花期(3-9月、白色)。冬の間も地面に葉を広げているため、小鳥の貴重なエサとしても利用される。					
雑木林視点	畑地や畦道などに生える。雑木林に侵入することがある。					

草	31	春	H30	18	種類	ハナニラ
						
班名	調査日	区域				
I・II	30.4.14	A・B				
特徴	球根性の多年草。高さ10-30cm。花期は3-4月、星形で白色や薄紫色。葉はニラやネギのような匂いがある。					
雑木林視点	明治時代に外国から園芸種として持ち込まれた帰化植物。雑木林の林辺部に侵入する。					

草	32	春	H29	10	種類	ヒメカンスゲ
						
班名	調査日	区域				
I・II	29.6.24	A・B				
特徴	多年草。高さ10-40cm。花期(3-6月葉は硬く細長く、表面はザラつく。カンスゲに似て小さいことから名の由来がある。					
雑木林視点	雑木林で普通に見られるイネ科の植物。					


草	33	春	H30	19	種類	ヒメツルニチニチソウ
						
班名	調査日	区域				
I・II	30.4.14	A・B南側				
特徴	つる性植物。高さ10-40cm。花期は4-6月で青や白色の花を咲かせる。グランドカバーとしてよく利用されている。ビンカミノールとも呼ばれる。					
雑木林視点	外来園芸品種。雑木林の林辺部に侵入することがある。					

草	34	春	H30	14	種類	フキノトウ
						
班名	調査日	区域				
II	30.3.10	A・B				
特徴	多年草。フキは高さ10-80cm。柄の長い大きな丸い葉。茎は地上には伸びず、地中で地下茎となり横に伸びる。フキノトウは早春に花茎が伸び出したもの、キャラブキは柄の部分を用いる。					
雑木林視点	雑木林や里地・人家の周辺で見かける。					

草	35-1	春	H29	11	種類	フタリシズカ
						
班名	調査日	区域				
I	29.6.24	A				
特徴	多年草。高さ30-60cm。葉は上部に対生する葉と接し、輪生状に見える。花期は4-6月。茎の先に数本の穂状花序を出し、小さい白い花をつける。					
雑木林視点	雑木林の林床を代表する草本。					

草	35-2	春	H30	20	種類	フタリシズカ
						
班名	調査日	区域				
I	30.4.14	A				
特徴	多年草。高さ30-60cm。葉は対生し、小さな托葉がある。花期は4-6月で花穂の先に米粒のような白い花をつける。花穂は2個のものが多く、1個のものも、3個以上つくものもある。					
雑木林視点	雑木林の典型的な草本。					

草	36	春	H30	21	種類	フデリンドウ
						
班名	調査日	区域				
I	30.4.14	A				
特徴	2年草。高さ5-10cm。花期4~5月、茎の先に長さ2-2.5cmの青紫色の花を付ける。花の形が筆の穂先を思わせることから名の由来がある。					
雑木林視点	山野の日当たりよりところに生える。雑木林の林辺部でも見られる。					

草	37	春	H29	12	種類	ヘクソカズラ
						
班名	調査日	区域				
I	29.6.24	A・B				
特徴	つる性の多年草。葉は楕円形で先が細る。花の中央が赤くお灸の跡にも似ているのでヤイトバナとも言う。葉や花などをもんでかぐと嫌な臭いがする。					
雑木林視点	ヤブカラシやクズ等のように雑木林の林辺部で大量に繁茂することもある。					

草	38	春	H30	23	種類	ヘビイチゴ
						
班名	調査日	区域				
II	30.4.14	B				
特徴	多年草。花期4-6月、花弁5つ、黄色。花後に光沢のない赤色の果実を付ける。蛇しか食べないイチゴだという由来もある。					
雑木林視点	田の畔や道端などのやや湿った場所に生える。雑木林の林辺で見られることもある。					

草	39	春	H30	24	種類	ホウチャクソウ
						
班名	調査日	区域				
I・II	30.4.14	A・B南側				
特徴	多年草。高さ30-60cm。袋状の花が2つぶらさがって咲く。あまり開かない。花が軒に吊り下げられる宝鏡に似ていることから呼ばれる。開花(4-5月白色)					
雑木林視点	雑木林で見られることもある。林床部で生えている。					

草	40	冬	H29	1	種類	ホトギス
						
班名	調査日	区域				
I	29.12.10	B				
特徴	多年草。高さ40-70cm。葉は長楕円形。3cmほどのロウト形の花。開花(7-10月外側は白色で内側全体に紅紫色の斑点あり、冬に咲くこともある。)斑点が野鳥のホトギスの胸の斑点に似ていることから「ホトギス」の名になったという説がある。					
雑木林視点	雑木林でも見かける。					

草	41	春	H30	25	種類	マムシグサ
						
班名	調査日	区域				
I	30.4.14	A南側				
特徴	多年草。高さ70-80cm。茎を直立させて、春から初夏に茎頂に高さ15cmほどの仏炎苞に包まれた特異な花をつける。					
雑木林視点	雑木林の典型的な草本。					

草 42 春 H30 26 種類 ミツバツチグリ



班名	調査日	区域
I	30.4.14	A
特徴	多年草。高さ15-30cm。葉に楕円3枚の小葉、縁には鋸歯がある。葉の裏が白い。花期(4-6月黄色)	
雑木林視点	雑木林でも人里でも見かける草本。	

草 44 春 H30 28 種類 ムラサキサギゴケ



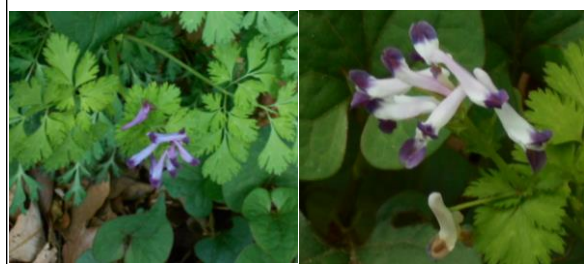
班名	調査日	区域
I	30.4.14	A南側
特徴	多年草。高さ3-10cm。葉は倒卵形(葉先のほうで広がる)。花期4-6月、紅紫色で唇型の花をつける。名の由来は花の形がサギの飛ぶ姿に似ていることから。	
雑木林視点	雑木林の林辺部でよく見られる。	

草 45-2 春 H30 29 種類 ムラサキハナナ



班名	調査日	区域
II	30.4.14	B
特徴	別名オオアラセイトウ、ショカツサイ、ハナダイコンとも呼ばれる。越年草。2月頃から成長を始め、3月から5月にかけてアブラナ科らしい十字形の薄紫色の花をつける。	
雑木林視点	外来種で雑木林には生息しないが、侵入することがある。	

草 43 春 H30 27 種類 ムラサキケマン



班名	調査日	区域
I・II	30.4.14	A・B南側
特徴	2年草。高さ20-50cm。葉は2-3回羽状に細かく裂ける。花期は4-6月、赤紫色。実は豆果で割れると黒い種子をとばす。	
雑木林視点	明るい里地や雑木林に生息する草本。	

草 45-1 春 H30 1 種類 ムラサキハナナ



班名	調査日	区域
I	30.3.10	A
特徴	別名、オオアラセイトウ、ショカツサイ、ハナダイコンとも呼ばれる。越年草。2月頃から成長を始め、3月から5月にかけてアブラナ科らしい十字形の薄紫色の花をつける。	
雑木林視点	外来種で雑木林には生息しないが、侵入することがある。	

草 46 春 H29 14 種類 ヤブマオ



班名	調査日	区域
I	29.6.24	A・B
特徴	多年草。高さ100cmぐらい。細かい葉脈。長い尾状に花をつける。開花(8月-9月白色)イラクサと似ているが葉と茎に棘がない。	
雑木林視点	雑木林の林辺部で見られることもある。	

草花を見よう

平成29年6月から平成31年3月実施

草	47-1	冬	H29	2	種類	ヤブランの実
						
班名	調査日	区域				
I	29.12.10	B				
特徴	<p>多年草。高さ30-60cm。葉は線形。穂状に小さな花を多数つける。花が終わったあと、黒っぽい小さい実をつける。開花(8-10月紫色)</p>					
雑木林視点	<p>雑木林で見られることもある。</p>					

草	47-2	春	H30	17	種類	ヤブラン
						
班名	調査日	区域				
II	30.3.10	B北東				
特徴	<p>多年草。高さ30-60cm。葉は線形。穂状に小さな花を多数つける。花が終わったあと、黒っぽい小さい実をつける。開花(8-10月紫色)</p>					
雑木林視点	<p>雑木林で見られることもある。</p>					

草	48	春	H29	16	種類	ヤブレガサ
						
班名	調査日	区域				
I	29.6.24	A				
特徴	<p>多年草。高さ50-120cm。名は芽出しの若い葉の様子が「破れ傘」に似ることによる。葉は長い柄があって円形。花期7-10月、茎の先に円錐花序に白色から淡紅色の頭花をつける。</p>					
雑木林視点	<p>武蔵野の雑木林で見かけることがある。</p>					

草	49	春	H29	17	種類	ヤマユリ
						
班名	調査日	区域				
I	29.6.24	A				
特徴	<p>球根植物。高さ100-150cm。発芽から開花まで5年以上かかる。花は白色に黄色や紅色の斑点があるものもある。開花(7-8月白色)</p>					
雑木林視点	<p>雑木林で比較的多く見ることができる。林辺部に生える。</p>					

草	50-1	春	H29	18	種類	ラムイウム(園芸種)
						
班名	調査日	区域				
I・II	29.6.24	A				
特徴	<p>ホトケノザの近縁種にあたる多年草。花期は4-6月で花色はピンク、紫紅、白などがある。葉はシソを小さくしたような形で真ん中に銀白色の筋がは入るので、花のない時期でも見栄えは良い。</p>					
雑木林視点	<p>外来園芸品種。雑木林にはない植物。</p>					

草	50-2	春	H30	30	種類	ラムイウム
						
班名	調査日	区域				
I・II	30.4.14	A・B				
特徴	<p>ホトケノザの近縁種にあたる多年草。花期は4-6月で花色はピンク、紫紅、白などがある。葉はシソを小さくしたような形で真ん中に銀白色の筋がは入るので、花のない時期でも見栄えは良い。</p>					
雑木林視点	<p>外来園芸品種。雑木林にはない植物。</p>					